

情報掲示板

お得なご招待や日々の暮らしに役立つ情報など

第5回 法テラス寄席

法的トラブル解決のための総合案内所、法テラスが寄席を開催いたします。

日時：2011年9月10日（土）
11:30 開場 12:00 開演

場所：大阪弁護士会館2階ホール
（最寄駅：地下鉄・京阪「淀屋橋・北浜」
京阪中・島線「なにわ橋」）

落語：『あくびの稽古』桂南光
『星野屋』桂雀松
『普請ほめ』桂二乗

トーク：『星野屋』を現在の法律から見ると
どうなるのかを弁護士が解説。

大阪市内へ避難されている皆様を優先的に
ご招待いたしますので、観覧ご希望の方は
下記の連絡先までお電話いただきますようお願いいたします。

電話番号：0503383-5426

プロ野球観戦 100名様ご招待

みんなで応援して笑顔になろう！
～東日本大震災・被災者支援プログラム～

東北楽天ゴールデンイーグルスVSオリックス・パファローズ

日時：2011年9月30日（金）

時間：18:00～

場所：京セラドーム大阪
（阪神なんば線「ドーム前駅」徒歩すぐ）

お申込み方法：別紙に氏名、年齢、住所、電話番号をご記入
のうえ、下記の番号にFAXをお送りください。

応募期間：2011年8月31日（水）まで

FAX：06-6356-8114

電話：06-4800-0655

主催：大阪府遊技業協同組合
協賛：大遊協商事株式会社

大阪城サマーフェスティバルのご案内

大阪城天守閣復興80周年記念舞台
『浪華の夢～城を築くぞ！オレたちの～』
無料で招待

ライトアップされた大阪城天守閣を背景に、
屋外の特設舞台で、「1615年大阪夏の陣」の
歴史群像と、1931年大阪市民による天守閣復
興の人間ドラマを芝居・ダンス・歌を交えて
劇的に描く！

日時：2011年8月30日（火）18:30～（雨天翌日）

場所：大阪城西の丸庭園特設ステージ

観覧ご希望の方は、8/23までに大阪市ボラ
ンティア情報センター 修田（しゅうでん）
まで、下記の番号へお電話をお願いいたし
ます。

電話：06-6765-4041

公演に関する問合せ
公演事務局 関西俳優協議会梅田支部
06-6377-1526
http://www.naniwanoyume.com

ひらかたパーク入園招待券

4つのプールと4つのスライダーが楽しめる、遊ぶ要素
いっぱいのプール「THE BOON」や色々なアトラクション、
室内の動物ふれあい広場「どうぶつハグハグたうん」など
親子で一日楽しめる遊園地。「ガンダムワールド2011」（9
月4日まで）も開催中!!

ご来園の際には別途配布いたしました
入園招待券をお持ちください。

場所：ひらかたパーク
（京阪電車「枚方公園駅」下車）

有効期間：2011年7月9日（土）～9月11日（日）
休園日 9月6日（火）

営業時間：8月1日～31日 10時～20時
9月の平日 10時～17時
9月の土日祝 10時～18時

プール開催時間：10時～17時

問合せ：ひらかたパーク
072-844-3475
www.hirakatapark.co.jp

癒しフェアへのご招待

東日本大震災チャリティーイベントに
取り組んでいる団体「被災地に癒しを届
けよう！」が主催する「癒しフェア」へ
ご招待いたします。

11時から13時までの間、フリーパス
（何度でもサービスをご利用頂けますが、
できるだけ空いたブースからお願い致し
ます）

日時：8月21日（日）
11:00～17:00

場所：アーツ☆エンターテインメント学院
（地下鉄四つ橋線「四つ橋駅」3出口）

定員：10名

申込：事前にお電話下さい
06-6764-0875
（受付時間10時から17時）

締切：8月19日17時

*次回のイベント開催は9/18@天満橋です。次回のイベントへご来場
ご希望の方も上記申込先にご連絡下さい。

故郷のこと、話しませんか

～災害を受けて関西へ来られた女性のみなさんへ～

故郷のこと、家族のこと、これからの生活のこと、
日々の暮らしの中で、誰もが持つ悩みや不安を、

◎お茶でも飲みながら◎
ゆっくりとお話ませんか？

開催日時：9月10日（10:00～12:00）
9月24日（10:00～12:00）
10月8日（10:00～12:00）
10月22日（10:00～15:00）
11月5日（10:00～12:00）
11月26日（10:00～12:00）
12月10日（10:00～15:00）

対象：東日本大震災により大阪へ避難されてきた女性
定員：15名
場所：ドーンセンター（大阪府立男女共同参画課・青少年センター）
4F和室または調理室
参加費：無料
一時保育：無料（1歳～就学前まで）
※要予約 開催日の1週間前締切

申込・問合せ：大阪府男女共同参画推進財団
06-6910-8588

ご質問、ご連絡等は...



社会福祉法人大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア情報センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内
Tel 06-6765-4041 / Fax 06-6765-5618

＜利用時間＞
月～金曜 9:30～20:30 土曜 9:30～17:00

＜休館日＞

日曜・祝日・国民の休日及び
年末年始（12月29日～1月3日）

E-mail: ocvic@osakacity-vnet.or.jp

東北と大阪を繋ぐ情報紙

第3号：平成23年8月

IMONIKAI

いもにがい

発行 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア情報センター
住所：〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センター内
電話番号：06-6765-4041
FAX: 06-6765-5618

協力 大阪弁護士会
大阪市各区社会福祉協議会

『9.23大阪から元気を届けようチャリティバザール』を開催いたします。



9月23日（祝）、『9.23大阪から元気を届けようチャリティバザール』を
マイドームおおさか（大阪市中央区）で開催いたします。こちらは東北地方
の物産販売をはじめ、大阪の物品販売、たこ焼き、焼きそばなどのフードコ
ーナー、特設ステージでのコンサート、キッズコーナーでのおもちゃ作りな
ど、内容盛りだくさんのイベントとなっております。今回は大阪市内だけで
なく、大阪府、京都府、兵庫県といった同じく関西地方へ避難された方々な
にもご参加いただけるように考えております。これまで以上に広く交流を深め
ていただきたいと思いますので、奮ってご参加ください。

ボランティア募集!! ずんだもち・芋煮を一緒に作りませんか？



大阪市社会福祉協議会では『9.23大阪から元気を届けようチャリティバザール』のフード
コーナーで、みちのくの味「ずんだもち」「芋煮」を作ってお出ししたいと考えております。
そこで県外避難をして大阪市内で生活をされている方で、一緒に郷土料理作りをしていただ
ける方を募集したいと思います。
福島で生まれ育った私としましては、「関西の人たちにも、うんめえずんだもちと芋煮さ、食わしてやっちええな
～・・・」という想いでいっぱいです。ですが、やはり大阪人だけでは東北の味を出すのは難しいと思います。
皆様のお力をどうかお貸しいただけないでしょうか。

もしご参加いただける方がいらっしゃいましたら、下記の電話番号、大阪市ボランティア情報センター
の修田（しゅうでん）または中村まで、ご連絡をお願いいたします。



大阪市ボランティア情報センター 電話：06-6765-4041



★ユニバーサルスタジオ・ジャパン あさがお遠足★

8/4木曜日、待ちに待ったユニバーサル・スタジオへの遠足の日がやってきました！当日は親子含め
て67名が参加されました。天気は晴れ、天気予報での予想最高気温は34℃。とっても暑い一日になり
ました。



まずはホールで歓迎セレモニー。
セサミストリートのマスコットたち
がお迎えしてくれました。スタッフ
の方が「今日を楽しみにしていた人
はいるかな？」と声をかけると全員
一斉に手があがりました。セレモニ
ーが終わると自由行動です。それぞ
れ待ち望んでいたアトラクションへ！



夏のイベント、水かけ祭りで全身水びたし
になりましたが、この暑さには爽快でした。
子どもたちからは笑顔が絶えず、勇気を出し
てジェットコースターに乗ったり、ポップコ
ーンを頬張ったり、水鉄砲で遊んだり…。

ご家族の方にも楽しんでいただけて、本当
に充実したイベントになりました。みんなの
夏休みに、またひとつ思い出ができました！

（修田 翔）

弁護士会からのお知らせ



監修：大阪弁護士会

皆様のご相談をお待ちしております。お気軽にお問い合わせください。

原子力損害賠償の中間指針について

今月8月5日、原子力損害賠償紛争審査会は、原発事故による被害者と東電との損害賠償に関し、「中間指針」を発表しました。これは、未だ原発事故が収束せず、被害の拡大が見られる状況下で、賠償すべき損害として一定の類型化が可能な損害項目やその範囲等を示したもので、この中間指針で対象とされなかったものが直ちに賠償の対象とならないというのではなく、今後も「指針」は検討されていきます。また、この指針には法的拘束力はありませんが、事実上、裁判の基準とされる可能性が高いものです。

(1) 対象区域については、政府による避難等のあった区域（避難区域、屋内退避区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域、特定避難勧奨地点、地方公共団体が住民に一時避難を要請した区域（南相馬市））の場合が定められています。しかし、対象区域以外で自主避難した住民については損害賠償を否定したのではなく、今後の検討課題となっています。

(2) 損害項目については、避難に伴う費用（交通費、宿泊費等）、一時立入費用（警戒区域内に住居を有する者の一時立入参加の交通費、家財道具移動費等）、帰宅費用（対象区域内の住居に最終的に戻るための交通費等）、精神的損害（事故発生6カ月間（第1期）については、一人月額10万円（但し、避難所生活の場合は一人月額12万円）が目安）

などが定められました。また、いわゆる風評被害や、間接損害（第一次被害者と一定の経済的関係にあった第三者に生じた被害。但し第一次被害者との取引に代替性がない場合。）も定められました。詳細は後日発行の「大阪弁護士会ニュース第4号」をご覧ください。

「避難者支援 出張なんでも相談会」を開催いたします
～弁護士と個別相談ができ、利用できる制度がわかります～

日時：9月3日（土）午後1時30分～4時

場所：大阪市子育ていろいろ相談センター7階

大阪市北区天満橋6-4-20

（地下鉄谷町線・堺筋線、阪急「天神橋筋六丁目」駅
3号出口から連絡）

内容：①各種支援制度の説明会

②個別法律相談

参加申込：8月31日（水）までに、大阪市ボランティア
情報センター 植村・修田へ電話してください。
（06-6756-4041）



大阪だより でっせ～

お料理交流会へ行ってきました

7月16日（土）10：00から西淀川区佃南小学校で、東日本大震災で西淀川区においで避難された家族をお招きして『お料理交流会～大阪の味を一緒に作りましょう！』が開催されました。冒頭、平田委員長（佃地域社会福祉協議会）からは参加者に向けて「佃の一員になって今は地元に甘えて、この会を何時か思い出して下さい」とご挨拶。保健福祉センターからは「手洗い」講習もあり、夏の食中毒や冬のインフルエンザ対策など、参加者も熱心に保健師さんの説明に聞き入っていました。



当日は猛暑の中、西淀川区未来わがまち会議、西淀川区地域福祉アクションプラン健康づくり部会主催で、伝承料理に取り掛かりました。献立は地元のつるや麺業さんご指導による『手打ちうどん・つゆ』、健康づくり部会からは『まじないご飯・茄子の揚げたしオクラ添え』を教えてくださいました。子どもたちは初めてのうどん作りに、生地を粘土のように器用に棒のように伸ばしたり、小さくちぎったりと大喜びでした。こねる作業、生地を踏む作業など、かなり体力のいるものでしたが、子どもも大人も顔まで粉だらけになって取組みました。



『まじないご飯』とは、お米と炒った大豆を昆布茶で炊き込んだもので、地域の伝統料理です。子どもたちは上手に炒った大豆の皮を剥いてくれました。一方大人は茄子の素揚げに汗だくになりつつも、手も口も動いて賑やかに40人分の調理をしました。クライマックスは寝かしたうどんをのし棒で延ばす作業です。普段からパイ作りをされているお母さんが、その腕前を活かして、初めてとは思えない手さばきでうどんを延ばしていきましました。茹で上がったうどんを冷やし、つゆでいただきました。プロの味に舌鼓です。初めて食べるまじないご飯は、程よい大豆の食感が好評でした。



最後につるや麺業さんから「被災地に帰られたら、また大阪のおうどんを作って地元の方と召し上がって下さい」とのご挨拶がありました。本場の浪花の味を、いつかふるさとでも思い出してもらおうことを願いつつ、地元の皆さんの熱い想いに感謝した夏の日でした。
（小野靖子・市居利絵）

東北だよりだっぺ！

第8回 東日本大震災被災地支援活動ボランティアバス レポート

平成23年7月20～23日 宮城県気仙沼市へ

被災地でボランティア活動をしたい！！という参加者の皆さんの思いを乗せて7月20日、第8回ボランティアバスが気仙沼に向けて出発しました。今回は、地域の皆さんが使う公園の泥出しだけではなく、避難所や仮設所へ行き、住民の方にお話を伺いました。そしてつらい気持ちや困りごとを受けとめ、現地の社協のスタッフに直接その事を伝える事ができました。参加者の皆さんの感想では、ボランティアとしての活動の必要性を感じる事ができ、瓦礫撤去ばかりが現地で求められているボランティア活動ではないと分かったという声もありました。

避難所や仮設所を訪れた際には、現在必要な物資、仮設所まわりの治安への不安など、様々な声を聞きました。また、演歌歌手が来てくれるときは絶対事前に情報が欲しい！と大阪のおばちゃんさんながらにケタケタ笑いながら話される方や、若い男の子ボランティアに笑顔で話をされるおばあちゃんもいらっしゃいました。また、地域の方が避難所でマッサージのボランティアを行っており、マッサージを受けたおじいさんは「体の疲れだけではなく、楽しく会話をしてくれるから心の疲れもほぐしてくれる」と話され、地域の人たち皆で生活を支えあっていることを実感しました。

被災地の皆さんのために大阪から何かしたい！という想いを皆でつなぎ合わせて、支援の輪をどんどん広げるために、東北の状況はもちろん、出会った人達の魅力をどんどん伝えていく事も大切だと感じました。

（古市朝美）

